

製品名: Lck マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80551**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG2a
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	56kDa

抗原情報

遺伝子名	Lck
別名	YT16; p56lck; pp58lck
遺伝子 ID	3932.0
SwissProt ID	P06239
免疫原	大腸菌で発現したヒト Lck の精製された組み換え断片。

背景

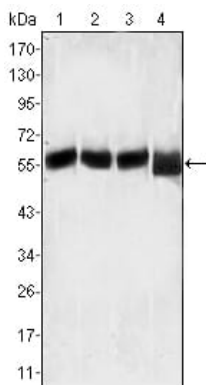
Lck（リンパ球特異的タンパク質チロシンキナーゼ）は、509 アミノ酸（約 56kDa）のタンパク質で構成され、Src 非受容体チロシンキナーゼファミリーに属します。共通の構造モチーフを持つため、Src ファミリーは脊椎動物において

Src、Yes、Fgr、Frk、Fyn、Lyn、Hck、Lck、Blk の9つのメンバーで構成されています。Lckは主にT細胞で発現し、細胞膜の内表面に局在します。LckはT細胞刺激後に活性化され、T細胞の増殖とIL-2産生に必要です。Lckキナーゼの異常な発現または活性化は、リンパ系および非リンパ系悪性腫瘍の両方で報告されています。さらに、Lckの阻害は、リンパ球の活性化と急性拒絶反応を防ぐための標的となっています。

研究分野

Jak-STATシグナル伝達経路

画像データ



MOLT-4 (1)、CCRF-CEM (2)、CCRF-HSB-2 (3)、Jurkat (4) 細胞溶解物に対するLCKマウスmAbを用いたウエスタンブロット解析。